IDS for Case No. 55718-USCD and 55718-USCZ

Japanese Examined Utility Model Registration No. 2531253

FIG. 2 shows a display apparatus. In FIG. 2, a displayed item A is placed in a display room 1. A liquid crystal glass 2 is provided to a window side of the display room 1. Illumination lamps 31 are provided to an upper side of a ceiling of the display room 1. An illumination light from each illumination lamp 31 is projected into the display room 1 through an opening (not shown). Video projectors 411, 412 are provided on a rear side of a rear surface 1a of the display room 1. A projection light from each of the video projectors 411, 412 is projected to a rear side of the liquid crystal glass 21 through an opening 111, 112 formed in the rear surface 1a. When a video image generated by each video projector 411, 412 is projected on the liquid crystal glass 2, the illumination lamps 31 are turned off.

(19) R本国种阵件 (JP)

(2) 実用新案登録公報((2)

(11) 念用新本学会委员

(45)登長日 平成9年(1997) 4月2日

(51) Int. C1. *	識別配号	F I		
A477 11/06		A47P 11/06		
8/00		3/00	P	
11/10		11/10		
G02F 1/13	605	G02F 1/18	605	
C097 \$/00		G09F 5/00	A	
			黄沢項の数1 (全4頁)	
(21)出旗番号	実際平2-406611	(13) 実用新業((73) 実用新架権者 591030581	
			株式会社大沢育会	
(22) 出劃日	平成2年(1990)11月18日		東京都港区芝精4丁目2番8号	
		(72)考案者	二瓶 和夫	
(85)公開養母	女師平4-93660		東京都港区芝浦四丁目2番8号 株式会	
(43) 公開日	平成4年(1992) 8月14日	i i	社大沢海会内	
		(74)代惠人	舟理士 遊野 秀雄 (外1名)	
		非生 官	双海 幹期	
		(56)参考文献	実所 昭65-62170 (JP, U)	
			9158 REST-16358 (JP, U)	
			特公 平6-5460 (JP, B2)	
		- 1		
		1		
		- 1		
		1		

(64) (今度の名称) ディスプレイ設置

(57) 【実用新収登録請求の範囲】

(請求項1) 窓用の関口部を有するとともに内部に展 示物を収容する展示室 (1) と、上配展示金の関ロ部に 設けられるとともに透明状態と不透明状態とを選択的に 切り換えられる紋品ガラス (2) と、上配展示室内を限 明するとともにその照明状態と非関明状態とを選択的に 切り換えられる照明手段 (8) と、上記展示塞の内部を 介して上記被品ガラスに展示室内側から映像を投影する とともにその投影状態と非投影状態とを選択的に切り捨 えられる映像投影手段(4)と、上紀被品ガラスを選明 状態、上配照明手段を照明状態および上記映像投影手段 を非投影状態にする第1モードと、上記被品ガラスを不 透明状態、上記照明手段を非照明状態および上記映像投 影手段を投影状態にする第2モードとを切換制御する制 御手段 (5) と、を備えたことを特徴とするディスプレ

イ袋屋。 (考案の評価な説明)

[0001] [産業上の利用分野] 本考案は、ショーウィンドなどに 代表されるように商品等の展示物を展示するためのディ スプレイ整理に関する。

[0002]

【従来の技術】 従来、デパートなどで見られるショーウ ィンドは、ポックス状の小部屋内に商品や装飾品等を配 登して道路側の窓を介して進行人などに商品を展示した り各種情報を提供するようにしたものが一般的である。 **甘た、このような商品ディスプレイや情報提供を目的と** するものにおいては、展示物のレイアウト、色、形など のデザインに思考をこらし、見る人の関心を引くように している。

[0003]

【考案が解決しようとする観酬】しかしながら、ショー ウィンドなどこの種のディスプレイのしかたにおいて は、腐品や鉄飾品等の展示物が静止していたり、あるい は動きのあるものであっても動作が展開的な単準動作で あることもあって、展示物を入替えないかぎり単興なデ ィスプレイになりやすいという問題がある。幹に、情報 復供という点ではあまり返していない。本考索は、展示 物を入替えなくても、多くの情報を提供できるなど、パ リエーションのあるディスプレイを行なえるようなディ 10 スプレイ装御を提供することを課題とする。

3

[0004]

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するた めになした本考案のディスプレイ装置は、関1に示した ように、寂寞の前口部を有するとともに内部に展示物A を収容する展示室1と、この展示室1の第口部に設けら れるとともに透明状態と不透明状態とを選択的に切り機 えられる牧品ガラス2と、展示富入内を照明するととも にその策明状態と非短明状態とを選択的に切り換えられ る限明手段3と、展示室1の内部を介して被品ガラス2 10 に展示室内側から映像を投影するとともにその投影状態 と非投影状態とを選択的に切り換えられる映像投影手段 4と、被品ガラス2を送明状態、殷明手段3を展明状態 および映像投影手数4を非投影状態にする第1モード と、被品ガラス2を不透明状態、照明手段3を非照明状 飽および映像投影手段4 を投影状態にする第2モードと を切換制御する制御手段5とを備えたことを特徴とす ₽.

[0005]

【作用】 制御手段 5 は、第1モードでは、被品ガラス2 30 を透明状態、照明手段3を照明状態および映像投影手段 4を非投影状態にし、第2モードでは、彼品ガラス2を 不透明状態、照明単微3を非限明状態および映像投影学 段4を投影状態にする。したがって、第1モードのとき は、 扇示室1内の原示物Aは照明手段3によって服らさ れ、通明状態にされた紋品ガラス2を介して展示的Aを 見ることができるようになる。また、第2モードのとき は、映像投影単段4からの映像が不透明状態にされた被 品ガラス2に投影され、展示数1の外側から見ると、核 品ガラス2に時間が除し出されるようになる。 100063

[実施例] 図2は本考案実施例のディスプレイ装置を示 す図である。 図2 において、1 は際品や設飾品等の展示 物Aを配慮して展示スペースとされる短形の展示室であ り、展示全1の密係一面には紋晶ガラス21が軟けられ

ている。なお、展示会1の天井と何節は一部破砕して図 示してある。

【0007】展示室1の天井家には既明ランプ31が設 けられれ、この服男ランプ31からの服剣光は図示しな

質面1aの質優にはビデオプロジェクタ41、41。 がそれぞれ配役されており、このビデオプロジェクタ4 1, , 4 I, からの投射光は、背面 I a に形成された関 口部11, 11, を介して被品ガラス21の裏側に投 好される。なお、この実施例では、投射光が展示的Aに かからないようにビデオプロジェクタ41, . 41, は 併団1aの上部に配置してあるが、投射光が展示物Aに かからない位置であれば何処でもよい。また、このよう なピデオプロジェクタは海食カムフラージュなどして展 示室内に配置するようにしてもよい。

[0008] 背面1aの背後には、被品スイッチボック ス22、風明スイッチポックス32、ビデオテーブレコ ーダ (VTR) 42, 、42, 、映像スイッチポックス 43、オーディオポックス61およびコントロールポッ クス5が配位されている。

【0009】 照明スイッチポックス32は、照明ランプ 3 1への電気供給を行うとともにコントロールボックス 5から入力される射弾位号に基づいて照明ランプ31の 点灯と例灯を行い、独品スイッチポックス22は、液晶 ガラス21への常圧供給を行うとともにコントロールボ ックス 5 から入力される 制御保存に基づいて枚品ガラス 21への印加電圧を変化させる。

[0010] VTR42, , 42, はコントロールポッ クスるから入力される射御信号に基づいて映像の再生を 行うとともに映像スイッチポックス 43を介してビデオ プロジェクタ41., 41. に映像信号を出力し、映像 スイッチボックス43は、コントロールボックス5から 入力される創御付名に基づいて、ビデオプロジェクタ4 1, 41, に供給する映像信号の切換技統を行う。さ 5に、オーディオポックス61は、VTR42,,42 , 等からの音声信号を増幅し、展示金1の左右前方に収 けられたスピーカ62、、62、で音響出力を行う。 【0011】被乱ガラス21は、透明電阻とガラス板で 被品層を挟み、透明電極に選圧を印加して被品層に電外 をかけると彼品層が透明になり、電界をなくすと粧品層 が白海状態になるものである。そして、間2に仮想除で 分割して示したように、被風スイッチポックス22から の電圧が所定レベルのとき(ON状態)透明になり、核

(OPF状物) 白畑して不満頃になる。 [0012] コントロールポックス 5は、マイクロコン ビュータ等で構成されており、図3のブロック図に示し たように、CPU51、ROM52、RAM53、入出 カインターフェース 5 4、 5 5 を僻えている。そして、 校品スイッチボックス22、照明スイッチボックス3 2、VTR42、、42、、映像スイッチポックス4 3、オーディオポックス61が入出カインターフェース 64、55を介して接続されている。

品スイッチボックス22からの電圧が0レベルのとき

[0013] また、ROM52にはプログラムを実行す い関口部を介して展示室1内に飛射される。展示室1の 50 るためのシステムプログラムが書き込まれており、RA

典理2531253

M658には、パーソナルコンピューダ7から入出カイン クーフェース64、55を介して入力された教育用プロ グラムと初別配定情報や収益の情報などの時間ガー グが特納されている。なお、CPU51はROM52の システムプログラムに基づくダイマー機能を指し、現在 特別を他のすることができる。

(0014) モレて、R. M. S. Sに幸を込まれた動物月 プログラムにあづいて味の它駅と思想力点が開発を い、選者のショーウィンドの攻略(モード)」と明泉が発音 ィスプレイを行う対象(モードI)との可急対策を行 ったお、初頭を管轄と切場が開催機能が高に応 じて任意に限定できるようになっており、初期設定情報 は立ち上げ時の状態(モードエノモードII)を設定する モードデータとは79回のモデータとして、切場映影情 報情報はモード切場えを確実行りが知を示す時到データ としてそれぞれまえ私(53に書き込まれる。また、R人 AS 3内にはモードデータを記憶する記憶様が行め放 定されており、例即は、この配質関項の提出しと書 飲えを行ってモードの切象人類を行う。

[0015] 図4柱解析用プログラムの一般を示すフロ 10 ーチャートであり、例図に基づいて、動作を説明する。 プログラムが独行されると、辺関数定情報を表出し (ス テップ5.) 、この初期放定情報のモードデータを記憶 領域に書き込んで、このモードデータに基づいて初期の モードを判定する (ステップ5.)。

[0016] モード1の場合は、展別スイッチボックス 3 2にライトのの制御信号を、放品スイッチボックス 2 2に被馬(LC)の外の特別情号を、VTR42と映像スイッチボックス43にVTRのFFの助剤信号をも 体スイッチボックス43にVTRのFFの助剤信号をも がたれ出力し、服务ランプ31を近げして統品がラス3 1を通明快能にするとともにビデオプロジェクタ41を 状色学校能でする(ステップ5、)。これでよって、最 示置19の展示物人を推断ガラス21を介して見ること ができるようになり、通常のショーウィンドの機能が原 たされる。

【0017】一方、モード川の場合は、原明スイッチボックス32にウイトのドアの制御信号を、鉄島スイッチボックス32に収集(上で)のドアの制御用号や、鉄島スイッチボックス43にVTRONの動物 信号を七十年出力力、原明ラング31を明りて収益 40グタ41を投影が動にするとされてビデオプロジェクタ41を投影が動にするとなって、ビデオプロジェクタ41からの映像が最高ガラス21に促逐ぎれ、この投影された快機を展示第1の対象から見ることができる。

【0018】上記のように初期モードの配定が終了する と、現在時刻が終了時刻かどうかを特定し(ステップS、)、 終了時刻であれば、ステップS、と同様にモード Jに設定して終了する(ステップS。)、また、終了時

[00] 19] 上記の実施所では、制御用プログラムをパーソナルコンピュータでRAMS 3 に間を込むとかに しているが、これに限るデフロッピディスクあるいはハードディスの等によって前期間プログラムを発動するようにしてもよい。また、VTR SEMINTのあなうとしてもよい。たち、比のの貨幣所がコーウィンドとしてもよい。たち、風水会のブースなどで用いました収扱のディスプレイ機能としてもいいとない。現外会のブースなどで用いました収扱のディスプレイ機能としてもいいことはいうまでもない

[0020]

【0020】 【等象の効果】以上限例したように本寺楽のディスプレイ装置によれば、最米物を収すするとちに、展米前を収すするとり、展界市的年間で10分割。 「明年度と認風ガラスの展示生所側に映像を促動する映像 便影手段を企配し、前脚手形とよって、接風ガウスを 透列状態、供像投影中段を呼称影状物あよび限明中段を 透列状態、供像投影中段を呼称影状物あよび限明中段を 週刊状態にする前1モードと、総届ガウスを不適切状態 第一株の影影子校を診断があるようにしたの で、選布のショーウェンドの機能が、発展ガウスとは機 が快し出される状態をと切り放展さることができる。した が快し出される状態をと切り放展さることができる。した かた、展示物を入見さんでも、そくの関格を提供 なった。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案のディスプレイ設置の基本構成を示す図

【图 2】本考索実施例のディスプレイ装備を示す図である。

【図3】本考案実施例のプロック図である。

【図4】 実施例の制御フローを示すフローチャートである。

- [符号の製明]
- 1 展示室
- 2 被品ガラス 3 短男手段
- 4 快像投影學段
- 5 船舶车税

